

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【公表番号】特表2013-522773(P2013-522773A)

【公表日】平成25年6月13日 (2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2013-500154(P2013-500154)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/41 (2013.01)

G 0 6 F 21/33 (2013.01)

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

G 0 6 F 21/10 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 21/20 1 4 1

G 0 6 F 21/20 1 3 3

G 0 6 F 21/24 1 6 5 C

G 0 6 F 21/22 1 1 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月5日 (2014.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピューティングデバイスにおいて実行される、プラグ可能なトークンプロバイダモデルを通じて複数のウェブサービスにわたってメッセージレベルの認証を行う方法であって、

クライアントアプリケーションのウェブサービスコンポーネントからウェブサービス要求を受け取るステップと、

前記要求されたウェブサービスに関連付けられたメタデータを突き止めるステップであって、前記メタデータが、前記要求されたウェブサービスの実行及び認証に関連付けられる情報を含む、ステップと、

前記メタデータを解析して複数のバインディングエントリにするステップと、

前記要求されたウェブサービスに資格情報が関連付けられているとき、前記資格情報を取得するステップと、

前記資格情報に基づいて、前記複数のバインディングエントリから適切なバインディングエントリを選択するステップであって、前記複数のバインディングエントリは、前記ウェブサービス要求が行われるリソースの識別子と、ウェブサービスメッセージに含まれるべき動作及び行為情報と、前記リソースによってサポートされる認証種類と、前記リソースに対応するセキュリティポリシー情報と、前記セキュリティポリシー内のトークン発行元識別子に基づくトークンプロバイダ識別情報とのうちの少なくとも 1 つを含む、ステップと、

前記取得した資格情報に関連付けられるトークンを取得するステップと、

前記取得したトークンと前記選択したバインディングエントリとに基づいて、前記要求されたウェブサービスを認証するステップと、

前記認証が成功したとき、前記要求されたウェブサービスを実施するステップと

を含む、方法。

【請求項 2】

前記クライアントアプリケーション内のウェブサービスコンポーネント及びトークンプロバイダコンポーネントは、前記要求されたウェブサービスを定式化し理解するビジネス論理を動作させるコンポーネントとは分離される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記トークンプロバイダコンポーネントは、前記クライアントアプリケーションと対話するトークン発行元を表し、URI と名前とのうちの一方によって識別される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

メタデータを維持するメタデータモデルコンポーネントは、前記ウェブサービスコンポーネントから取得されるウェブサービスメタデータとウェブサービスセキュリティ (WS-S) ポリシー情報とのうちの一方を用いて、前記トークンプロバイダコンポーネントを参照する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記メタデータモデルコンポーネントはさらに、メタデータ情報と、前記メタデータを供給するウェブサービスの識別子とのマッピングを維持する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記メタデータモデルコンポーネントが、前記メタデータを解析して、前記複数のバインディングエントリを維持し、前記メタデータが一度だけ取得され解析されるように、前記解析されたメタデータを保持する請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

ウェブサービスマネージャコンポーネントは、
前記メタデータモデルコンポーネントから前記メタデータを取得し、
前記複数のバインディングエントリをサイクルし、
前記要求されたウェブサービスと、関連付けられた認証種類とに基づいて、前記複数のバインディングエントリのうちの 1 つを選択し、
実際のウェブサービス要求を構築する
ように構成される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

資格情報マネージャコンポーネントは、前記ウェブサービスマネージャコンポーネントによって供給されるユーザ識別子に基づいて、前記要求されたウェブサービスに関連付けられた資格情報サービスを識別するように構成される、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

プラグ可能なトークンプロバイダモデルを通じて複数のウェブサービスにわたってメッセージレベルの認証を行うためのコンピューティングデバイスであって、
プロセッサと、
前記プロセッサに接続され、クライアントアプリケーションを格納するメモリと
を備え、前記クライアントアプリケーションは、
少なくとも 1 つのウェブサービスコンポーネントと；
前記クライアントアプリケーションと対話するトークン発行元を表す、少なくとも 1 つのトークンプロバイダコンポーネントと；
ウェブサービスからメタデータを取得するメタデータモデルコンポーネントであって、
前記メタデータは、要求されたウェブサービスの実行及び認証に関連付けられる情報を含む、メタデータモデルコンポーネントと；
前記メタデータモデルコンポーネントから前記メタデータを取得し、
前記メタデータモデルコンポーネントによって前記メタデータから解析された複数のバインディングエントリをサイクルすることであって、前記複数のバインディングエントリは、ウェブサービス要求が行われるリソースの識別子と、ウェブサービスメッセージに含まれるべき動作及び行為情報と、前記リソースによってサポートされる認証種類と、前

記リソースに対応するセキュリティポリシー情報と、前記セキュリティポリシー内のトークン発行元識別子に基づくトークンプロバイダ識別情報とのうちの少なくとも1つを含み、

前記要求されたウェブサービスと、関連付けられた認証タイプとに基づいて、前記複数のバインディングエントリのうちの1つを選択し、

実際のウェブサービス要求を構築する

ように構成されたウェブサービスマネージャコンポーネントと；

を含む、コンピューティングシステム。

【請求項10】

プラグ可能なトークンプロバイダモデルを通じて複数のウェブサービスにわたってメッセージレベルの認証を行うためのプログラムであって、コンピュータに、

クライアントアプリケーションのローカルウェブサービスコンポーネントから、ウェブサービスのコールのペイロードを受け取るステップと、

前記コールのベース識別子を抽出するステップと、

ウェブサービスのメタデータを要求しているメタデータモデルコンポーネントにコールするステップと、

前記メタデータを取得すると、前記メタデータ内の利用可能なバインディングをサイクルするステップであって、前記メタデータ内の前記利用可能なバインディングは、前記ウェブサービス要求が行われるリソースの識別子と、ウェブサービスメッセージに含まれるべき動作及び行為情報と、前記リソースによってサポートされる認証種類と、前記リソースに対応するセキュリティポリシー情報と、前記セキュリティポリシー内のトークン発行元識別子に基づくトークンプロバイダ識別情報とのうちの少なくとも1つを含む、ステップと、

前記要求されたウェブサービスに関連付けられた資格情報に応じて、要求される動作と認証種類とに基づいて適切なバインディングを選択するステップと、

実際のウェブサービスが構築されるように前記資格情報に関連付けられたトークンをフェッチするステップと

を実行させる、プログラム。